

平成25年度 第1回 経営協議会議事概要

日 時 平成25年5月10日（金）10:00～11:00
場 所 特別会議室
出席者 別紙のとおり

本学の活動状況について

学長から、議事に先立ち、前回会議以降の「本学の活動状況」について、資料に基づき、報告があった。

議 題

1. 経営協議会の開催日について （議題1の別紙）

理事（総務・財務担当）から、経営協議会の円滑な開催・運営を行うため、開催日を定例化し、別紙（案）のとおり開催することについて、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承した。

報告事項

1. 平成25年度大学運営方針について （報告事項1の資料）

学長から、4月に学外委員へ意見招請を行っていた「平成25年度大学運営方針」を策定したことについて、資料に基づき報告があった。

学外委員から、以下のような意見等があった。

- ・大学運営方針についてのPDCAサイクルはどのように実行するのか。
- ・年度計画と大学運営方針は、どのような関係となっているか。
- ・実施に当たっての適切な評価指標がないように思えるので、評価の手法を学ぶことも必要と考える。
- ・学内外等の研究推進支援体制強化や各教育委員会との連携充実を方針に記載されたことに感謝する。
- ・打たれ強い教員の卵を育ててほしい。
- ・2-②のTOEFLやTOEICの活用については、具体的に目標得点はあるのか。
- ・地方は、どうしても刺激が少ないところがあるが、グローバル化に関する機会、刺激を地域及び大学全体で与える必要がある。
- ・宗像市は、ミニ国際都市を目指しているが、子どもたちを指導する先生たちが英語をしゃべれないという状況をどうにかしなければならない。

学長、理事（企画・教育研究・附属学校担当）及び副理事（評価担当）から、以下のような発

言があった。

- ・大学運営方針の実施に当たっては、例年どおり各課題の担当者を決め、ロードマップを作成し、定期的に進捗管理を行なう予定である。
- ・大学運営方針には、年度計画に記載した事項と重なっているものもあるが、年度計画に記載するには馴染まない具体的取組事項や大きな課題に関する「検討」といったものについても記載している。
- ・評価に当たっては、情緒的ではなく、具体的に結果を示せるように対応したい。

理事（企画・教育研究・附属学校担当）及び理事（国際交流・社会連携担当）から、英語力向上に関して、以下のような発言があった。

- ・TOEFLやTOEICの活用については、議論を開始したばかりで、具体的議論は進んでいないが、レベルに差がある学生たちについて、課程等それぞれに合わせた得点目標の検討が必要ではないかと考えている。
- ・九州においてはグローバル人材養成が強く求められており、そのためには初等中等教育からの英語、国際化教育が重要であると認識している。本学はその教育を担う教員の養成大学として、学生の英語力を向上させる取組は、必ず実施すべき課題と考えている。

2. 平成24年度監事監査結果報告書(平成25年3月22日)について (報告事項2の資料)

学長から、平成25年3月22日に監事監査結果報告書の提出を受け、是正又は改善すべき事項として、評価項目に基づく教員の勤務成績評価及びその給与への反映が不十分である事が指摘されているほか、その他の改善を要する事項として10項目の指摘を受けていることについて、資料に基づき報告があった。

また、今回の指摘事項については、現在、各項目の担当を定めて対応を策定しており、年度中の改善に向けて取り組んでいきたい旨、発言があった。

その他

1. 次回の開催日程について

次回の会議を、平成25年6月25日（火）13：30から、事務局特別会議室で開催することとした。

説明資料等

- 議題 1 の別紙
 - ・平成 2 5 年度経営協議会定例開催日について（案）

- 報告事項 1 の資料
 - ・平成 2 5 年度大学運営方針
 - ・平成 2 5 年度大学運営方針（修正箇所表示付き）

- 報告事項 2 の資料
 - ・平成 2 4 年度監事監査結果報告書（平成 2 5 年 3 月 2 2 日）